

一般国道397号 小谷木橋 旧橋撤去工事が完了します

県南広域振興局土木部

一般国道397号「新小谷木橋」が令和3年5月31日に開通したことに伴い着手した小谷木橋の旧橋撤去工事が、令和6年度で完了を迎えます。



【河川流水部で行った橋脚撤去工事】



位置図



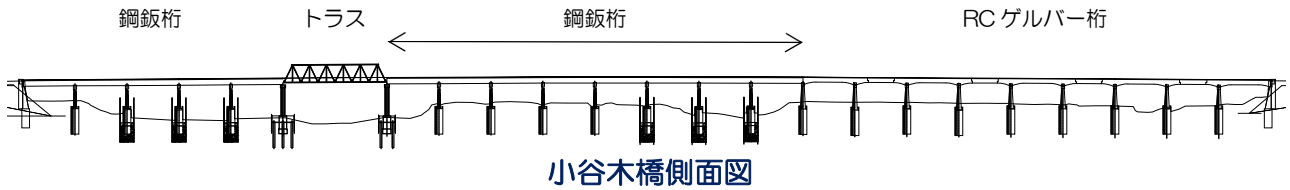
新小谷木橋供用開始直後の様子

小谷木橋は架橋から70年近く経過し、老朽化が著しいほか、東日本大震災の約1か月後の余震により橋脚が傾き、4か月の全面通行止めとなりました。当時は、下部構造が水中や土中で詳細な状況が確認できないこともあり、橋脚基礎で変状が発生した原因を完全に特定することができませんでした。

今回の工事では、下部構造の当時の損傷状況等を直接確認できる状態となることから、国土技術政策総合研究所及び国立研究開発法人土木研究所にも御協力いただき、調査と並行しながら撤去作業を進めてきました。

小谷木橋上部工は、主に鋼鉄桁及びRCゲルバー桁により構成されており、それぞれ、クレーンによる吊り上げ撤去、大型ブレーカーによる取壊しを行いました。

また、下部工の撤去は、ワイヤーソーで切断・分割してからクレーンで吊り上げ、また、鋼矢板の仮締切内でブレーカーにより破砕等を行いながら進めました。部材や施工箇所により最適な工法を採用し、河川区域内で作業可能な非出水期内の作業完了に努めました。



クレーンによる鋼鉄桁の吊り上げ撤去



大型ブレーカーによるRCゲルバー桁の取壊し



河川流水部での仮設工の設置状況



仮締切内での橋脚基礎取壊し



国総研、土研による現地調査



橋脚撤去後の状況 (A1橋台からA2橋台を望む)